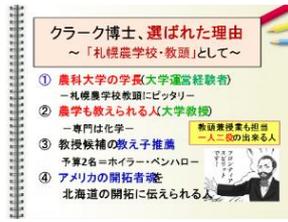
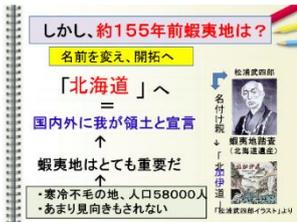


クラーク精神普及活動報告
 緑ヶ丘小6学年講話「クラーク博士から学ぶこと」

2023年11月24日の3時間目に、緑ヶ丘小学校の6年生30名を対象に、4年ぶりに講話を実施しました。映像などでできるかぎり分かりやすくをモットーに、活動推進チーム6名の理事で検討を重ねたパワーポイントを活用しての講話でした。



講話は3部構成とし、
 話題1「147年も前になぜクラーク博士が北海道に来たのか」



話題2「クラーク博士の札幌農学校教育はどのようなであったか」

話題3「教え子たちの努力とその成果(功績)がどのようなものであったか」をテーマとし、博士と教え子たちがどのように「学ぶこと」を帰納的に導きだしたかを中心に、60枚余のスライドを使って説明を行いました。今後の児童の生活に少しでも役立てばと願い、チーム6名の願いを込めた説明ですが、小学生には少々むずかしかったかも知れません。

説明不足を補うためと、家庭での活用を期待し補助資料も配布しました。



博士や学生たちの「立志」とその挑戦、そして社会奉仕となる功績へのプロセスから「夢に向かって努力することが、生き方を豊にする」ということを、児童ひとりひとりの心に残してもらえたら、大変うれしいことです。

<児童の質問・感想など>

説明のあとには、児童からつぎのような質問や感想が寄せられました。

- 「すばらしいクラーク博士をどうやって見つけたのか」
- 「英語での授業を学生はどうしたのか」
- 「わずか8ヶ月で、すごい教育をしたんだ」
- 「大谷選手も大志をいただき、実行したと知った」
- 「クラーク博士はなぜ「少年よ・・・」と言ったのか」

<今後の講話予定>

今回は、1月25日(木)13時20分から緑陽中学校の2学年を対象に講話を予定しています。また、2月2日(金)には、時間未定ですが双葉小学校の6年生を対象とした講話を計画中です。